



あかしの社会福祉

No.91 2016. 7. 25
 編集・発行
 社会福祉法人
明石市社会福祉協議会
 〒673-0037 明石市貴崎1丁目5番13号
 市立総合福祉センター内
 ☎(078)924-9105
 FAX(078)924-9109
 http://www.akashi-shakyo.jp

明石市社会福祉協議会

検索



熊本地震への支援を行っています!!

本年4月に発生した熊本地震では、多くの人命が失われ、家屋等にも甚大な被害が発生しました。当会では、発生直後から義援金の募金活動に取り組むとともに、職員を派遣し現地ボランティアセンターの運営等に携わってきました。今後も、引き続き支援活動に取り組んでまいります(P4~5で特集)。市民のみなさまにおかれましては、いつ起こるか分からない災害から、自分と家族の命を守る準備をしっかりとさせていただくとともに、万一の時に災害ボランティアとしてお力をお貸しください。



- 平成27年度明石市社会福祉協議会の主な取り組みと決算の概要・・・P2
- 善意銀行特集・・・P3
- 熊本地震への支援について・・・P4~5
- こどもレストラン、倉敷ひまわり号を走らせる会の報告 ほか・・・P6
- 総合福祉センターからのお知らせ・・・P7
- インフォメーション・・・P8

回										
覧										

この広報紙は あなたのまちの
 幸せのために
 赤い羽根
 共同募金 配分金の一部を活用しています。★広報紙をご入用の方はお気軽に 明石市社会福祉協議会まで★

平成27年度 明石市社会福祉協議会の主な取り組みと決算の概要

平成27年度は、平成23年4月からスタートした「地域福祉活動計画～地域の福祉力を高める社協プラン～」の最終年度であり、地域福祉力向上の集大成として、社協プランに定める「基本理念」、「基本方針」、「5つの施策」を踏まえて取り組みを進めました。

【基本理念】

それぞれの地域が、それぞれの特色を活かした方法で、「誰もが安心して住み続けることができる地域づくり」に取り組もう

【基本方針】

- (1) 住民主体で地域の福祉力・地域力を高める
- (2) 人のつながりに支えられた地域の安全・安心を高めていく

【施策】

- (1) 地区社協の活動支援を強化する
- (2) 担い手養成とネットワーク化支援を推進する
- (3) 住民と力を合わせて人のつながりを拡げていく
- (4) フォーマルからインフォーマルまで一貫した視点で地域生活を支える
- (5) 市社協の体制を強化・充実する

特に重点的な取り組みとして、明石市立総合福祉センターの1階に地域包括支援センター、明石市基幹相談支援センター兼障害者虐待防止センター、明石市後見支援センターを集約し、4月1日から「高齢者・障害者の総合相談窓口」を開設しました。また、9月には地域包括支援センター内に「認知症総合相談窓口」を開設し、専用電話を設置するなど、相談窓口のさらなる充実を図りました。

地域福祉分野においては、地区担当職員の体制を拡充させ、地域とのつながりを深めるなど、地区社協活動のより一層の支援を行いました。

◆平成27年度 資金収支決算額 (単位：円)

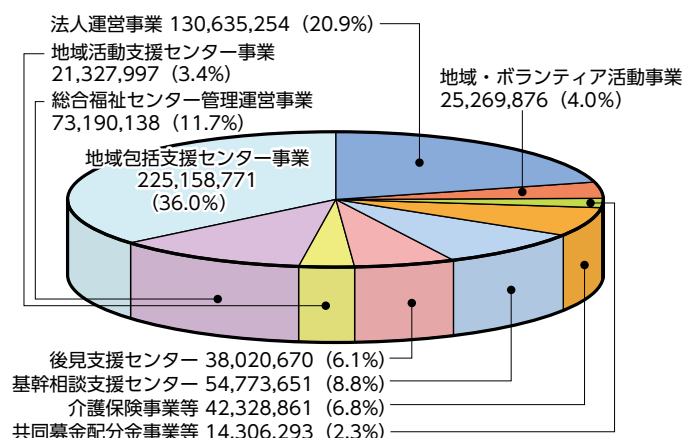
勘定科目		金額	
経常活動	収入	会費収入	11,714,700 1.9%
		寄附金収入	595,829 0.1%
		経常経費補助金収入	141,418,085 22.6%
		受託金収入	173,673,999 27.7%
		貸付事業等収入	5,328,500 0.8%
		事業収入	398,200 0.1%
		介護保険収入	262,544,037 42.0%
		障害福祉サービス等事業収入	29,600,444 4.7%
		受取利息配当金収入	391,430 0.1%
		雑収入	108,443 0.0%
		合計	625,773,667 100.0%
		支出	人件費支出
事務費支出	24,191,720 3.9%		
事業費支出	173,583,208 27.8%		
貸付事業等支出	5,431,000 0.9%		
助成金支出	27,211,152 4.3%		
負担金支出	120,000 0.0%		
合計	625,011,511 100.0%		
経常活動資金収支差額		762,156	-

(経理区分間繰入金収入・支出を除く)

◆平成27年度 拠点区分別支出額内訳 (単位：円)

拠点区分		経常支出
社会福祉事業	法人運営事業	130,635,254
	地域・ボランティア活動事業	25,269,876
	共同募金配分金事業等	14,306,293
	介護保険事業等	42,328,861
	基幹相談支援センター	54,773,651
	後見支援センター	38,020,670
	地域活動支援センター事業	21,327,997
公益事業	総合福祉センター管理運営事業	73,190,138
	地域包括支援センター事業	225,158,771
合計		625,011,511

(経理区分間繰入金支出を除く)



(単位：円)

善 意 銀 行 特 集

【問合せ】総務係 924-9105

当会では、福祉の増進を目的にみなさまから寄せられた善意の金品を預託としてお預かりし、社会へ還元しています。

今年度も、これまでに以下のとおり預託をいただいています。皆様の善意を、お寄せください。また、善意銀行からの助成をご希望の福祉団体様がございましたら、お気軽にご相談ください。

【4月1日～6月30日】

預託

●物品

ナブテスコ様（車いす）、平尾孝子様（福祉用具）、
イオン明石店様（日用雑貨等）

●金銭（85,000円）

魚の棚商店街事務所様、匿名（6名）



ナブテスコ様からの寄贈



明石乳児院様への寄贈（昨年の様子）

払出

●金銭

明石小日本語教室様、ボランティアはなぞの様

善意銀行から助成します

【対象施設・団体】 市内の福祉施設、団体、NPO、ボランティアグループなど

【対象事業】 明石市内で実施される福祉に関する事業及び活動で、平成29年3月31日までに完了する事業

【応募条件】 ①過去1年間以上の活動実績がある団体

②当会の賛助会員あるいは施設団体会員の法人・団体

【受付期限】 平成28年8月31日（水）締切

【助成金額】 一事業あたり、上限10万円（申請事業の10%の自主財源が必要）

※申請方法、選考基準等につきましては、当会ホームページをご参照ください。

コラム

これまで約10年にわたり、匿名で毎月1万円の預託をしていただいている方がいらっしやいます。手厚い善意に感謝いたします。これまでに、明石市身体障害者福祉協会様やあかし点訳グループ様、福島の子どもを招きたい！明石プロジェクト様などに払い出しをいたしました。今後もこの善意をしっかりと還元してまいります。



熊本地震への支援について

当会では、本年4月に発生した熊本地震に対しまして、以下の支援活動を行ってまいりました。今後も引き続き支援を行ってまいりますので、市民のみなさまのご協力につきましても、よろしくお願いいたします。

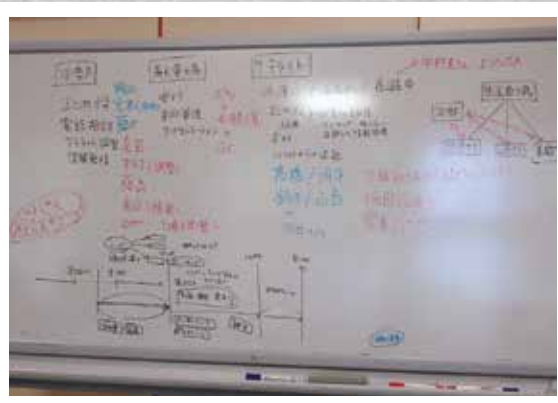
職員派遣

ゴールデンウィーク期間より、当会の職員4名を熊本県・西原村のボランティアセンター等に派遣しました。この間現地では、災害支援から生活課題支援にシフトが進みつつあり、西原村社協職員のサポートや住民の生活課題の発見など、今後の復興支援に向けた業務に携わりました。

【派遣状況】

H28.5. 1～ 6	1名	熊本県西原村
5.11～18	1名	熊本県益城町
5.25～30	1名	熊本県西原村
6.18～23	1名	熊本県西原村

ボランティアセンターの様子



被災地の様子



義援金

4月18日に、西明石駅にて花園小学校地区社会福祉協議会、ボランティアはなぞの皆様による街頭募金活動（募金額：71,410円）を、また21、22日に、明石駅にて明石市青少年連絡協議会、明石市ボランティア連絡会、災害ボランティア事前登録者のみなさまと当会の職員による街頭募金活動（募金額：295,214円）を実施しました。会社帰りの方や塾帰りの子どもたち、親子連れの方など、多くの方々からあたたかいご支援をいただきました。

また、総合福祉センター、市役所や3市民センターに募金箱を設置し義援金の募集を行ったほか、魚の棚商店街内の「魚の駅」に義援金の鍋を、JR明石駅構内の「ピオレ明石東館」受付などにも募金箱を設置いただき、ご協力をお願いしました。

6月30日までに、1,558,316円の義援金が集まり（上記、街頭募金分含む）、中央共同募金会を通じて送金いたしました。ありがとうございました。

※7月1日以降も、総合福祉センター1階受付にて義援金の募集を行っています。

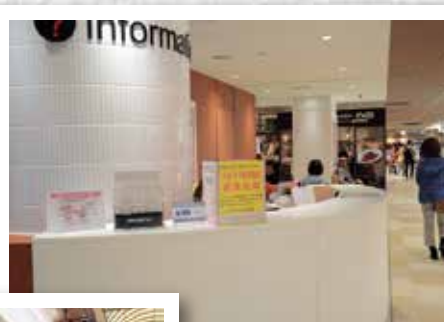
募金活動の様子



募金箱設置の状況



市立総合福祉センター内



ピオレ明石東館内



魚の駅

こどもレストラン



開催日: 4月14日(木)
開催場所: はなぞの広場

両親が共働きなどで夕食の時間が遅くなることがあります。こどもレストランでは早めの時間に夕食を食べ、参加者と一緒に遊んで楽しい時間を過ごすことが出来ました。

迎えに来られた親御さんも、「また次回も参加させたい。」ととても喜ばれ、良い取り組みがまた1つ始まったことを嬉しく思います。



倉敷ひまわり号を走らせる会

開催日: 5月22日(日)
開催場所: 明石駅周辺

「ひまわり号」は「障害のある方が気軽に旅が出来るように」という切実な願いから創られた活動です。この日は岡山県倉敷市から総勢約320名ほどの障がい者、家族、ボランティアの方が、「ひまわり号」の臨時列車に乗って明石市まで来られました。

明石市からは明石市ボランティア連絡会、上ノ丸たすけ合いひまわり会の方がボランティアとして参加してください、参加者の方は、明石駅周辺を約3時間散策して、笑顔で倉敷まで帰っていかれました。



災害ボランティアの事前登録募集

災害は、いつ起こるかわかりません。

当会では、いざという時に備えて災害ボランティアの事前登録を受け付けています。

防災・減災に関する研修会を開催したり、災害支援のボランティア募集情報などを発信しています。登録に際して特別な資格は必要ありません。ぜひ登録をお願いします。

災害ボランティアって何をするの…?

主なボランティア活動の内容は以下のとおりです。

- ①災害ボランティアセンターの運営
- ②避難所での活動支援
- ③被災者のための炊き出し
- ④援助物資の整理、配分作業
- ⑤被災地区の清掃
- ⑥その他の応急対策活動



【問合せ】 地域福祉係 ☎924-9105


 ○総合福祉センターからのお知らせ○
 

地域活動支援センター事業利用者追加募集

創作活動や日常生活訓練の機会を提供することにより、身体に障がいのある方が能力や適性に応じて、自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう支援することを目的として様々な教室を開催しています。

現在、下記の教室に定員の空きがありますので申込みされる方は障害者手帳と印鑑を持参のうえ、総合福祉センター窓口までお越しください。

童謡・唱歌	書道	カラオケ	点字	写真	生花	料理
囲碁・オセロ	体操	陶芸	七宝焼	プリザーブドフラワー		

- ◎対象者：市内在住・在宅で、身体障害者手帳をお持ちの方
- ◎定員：若干名（各教室の定員になり次第締め切ります）
- ◎費用：無料（テキスト代、材料費は実費負担になります）

★トライやる・ウィーク

トライやる・ウィークは、中学生が地域社会での様々な活動を通じて、社会との関わりや自分自身の将来を考える機会を提供することを目的としている職場体験研修です。

当センターでは、5月30日から6月3日までの5日間、市内の中学2年生を2名受け入れ、センターでの受付業務や、ケアサロンなどのボランティア活動を体験してもらいました。

この体験を通じて、高齢者・障がい者との関わり方について学べたことを喜んでいました。



にこにこプリザーブドフラワー教室 参加者募集

木の実を使った秋のリースを製作します。

- ◆開催日時：8月30日（火）10：00～ 1時間半程度
- ◆対象者：市内在住の60歳以上の方及び障害者手帳をお持ちの方
- ◆定員：20人
- ◆費用：1,800円（材料費として）
- ◆申込期間：8月2日（火）から定員に達するまで（日・祝以外）
- ◆申込方法：窓口または電話にて受付 先着順



【申込み・問合せ】 総合福祉センター 平日 9：00～17：30
☎918-5660

インフォメーション

「車いす」の貸出しをしています

当会では、在宅で介護を必要とする方の生活を支援するため、総合福祉センターとコミュニティセンターなどの地域の貸出場所で、「車いす」の無料貸出しを行っています。ぜひご利用ください。

貸出しの限度期間	総合福祉センター	3ヶ月
	地域の貸出場所	2週間

※地域の貸出場所は、当会のホームページに掲載しています。

家庭で使わなくなった福祉機器を提供してください

当会では、ご家庭で使わなくなった電動ベッド、車いす、シャワー椅子などの福祉機器の提供を受け、必要な方に無償で譲渡する「福祉機器リサイクル事業」を行っています。再利用が可能な福祉機器がありましたら、ご連絡ください。

【問合せ】 在宅福祉係 ☎924-9105

5月29日に魚の棚で開催された「明石ミニミニふれあいフェスタ2016」に参加しました

当日は、車いすやアイマスクの体験イベントを実施しました。また、熊本地震義援金の募金活動を行い、多くのご協力をいただきました。



職員採用情報

当会では、以下の職種を募集しています。ご応募、お待ちしております。
※詳細は、当会のホームページをご参照ください。

- ・プール介助員（プール内における障がいのある方の介助）

雇用形態：パート 勤務時間：金曜日のみ（年間38回）13：00～16：30

生活支援体制整備モデル事業、活動中\(^o^)/

一年目、がんばってま〜す！ 生活支援コーディネーター 地域のみなさん、よろしくネ

藤江小学校地区社会福祉協議会

平成27年12月に、藤江地区全世帯を対象にアンケート調査を実施し、困りごとや「こんなサービスがあれば良いな」などのご意見を頂きました。「藤江をもっと良くしていきたい」気持ちを持った住民が集まった「ふじえんじえる」という組織を作り、その中でさらに住みやすい地域づくりを進めて行こうと、日々、取り組んでいます(#.^.#)



山岡 和希

山手小学校地区社会福祉協議会

昨年度、山手地区内で活動しているサロンや高年クラブの定例会などに参加して、地域の困りごとや様々なお店などのサービスについて聞き取り調査を行いました。その情報をまとめた「くらしのバイブル」を全戸配布し、住民同士で情報の共有ができるようにしました。今年度も、様々な団体などと連携して、更に住みやすい山手地区をめざし、活動をしていきます(*^.^*)



岡本 工

これからも、地区担当職員が地域の中で、住民のみなさんと一緒に活動していきますので、見かけられたら、お気軽に声をかけてくださいね♡